

比較広告はみっともないぞ

03 - 08

なにごとであれ、アメリカの真似をする日本ですが、ひとつだけどうしてもこんな日本に持ち込まないでほしいと思うのは、行き過ぎたテレビの比較広告です。

有名な例は、**コカコーラとペプシの戦争**です。最近は何ほど酷くはないようですが、20年ほど前は、こんな具合でした：

朝の食事テーブル。こどもが液体の入った二つのグラスの片方を振ると「カタカタ」と音がする。もう一方は音がしない。母親「ほらね、昨夜寝る前にあなたの抜けた歯をそれぞれに入れておいたの。それが溶けてしまって音がしない方がコカコーラ、音がするのがペプシなの。わかる？」（おーい、2本も抜けたのかい？ 無理があるよ！）

負けずにコカコーラの逆襲もあって、たしかハーバード大学の学食で、並んだコカコーラとペプシの自動販売機のコカコーラの前の行列と、誰も寄り付かないペプシを、ビデオでただ流し続けるコマーシャル。

道端でエンコしているトヨタ車の横をラジカセ音楽をご機嫌に大音量で鳴らしながら通り過ぎるアメ車。運転している美女がウィンクして、

“Come back to America!”

やはり高速道路でエンコして、乗客を別のバスにませ換えて

いるコンチネタルの横をグレイハウンドがさっそうと通り過ぎる。

日本のテレビ、こういう世界に入っちゃダメですよ。

WiiとPlaystation3が、相手をなじりあうようなこと、しないでね。

カルビーとナビスコが、うちのポテチの方がおいしいぐらいはいいけれど、相手ののが健康に悪いとか、言っちゃダメだよ。

キッコーマンとマルキンさん、いがみあっちゃあいけないよ。

あ、でも、あるPC量販店では、競合する数社の実売価格を大きく明示してあるね、最近。それほどでなくても「他店より1円でも高ければ、チラシ等をお見せくだされば、それに負けない額を保証します」などと、**どの店もやっている**ようですが、これって論理矛盾じゃない？

